

令和5年度シラバス

科	科 目		学年	単位数	
建築設備科 (設備工学コース)	衛生防災設備		3学年	2単位	
学習の到達目標	建物の防災を考え、火災対策を建築設備の面から取り上げる。消火設備を中心に学び、理解を深める。				
教科書・教材等	衛生・防災設備(文部科学省)、プリント	授業形態	一斉授業		
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
建物内の防災システムについて関心を持ち、理解しようとしている。	建築物の防災設備を理解し、要約して説明することができる。	学んだ防災設備の各器具の機能等の知識をまとめ、発表することができる。	防災設備を理解し、基本的な知識を身につけている。		
学期	月	指 導 内 容		配当時数	評価の観点・方法
一 学 期	4	消防の役目 消防に関する事項 消防消防設備の概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防の役割について理解する。 消防法令また、消防に関する事項および消防諸設備の概要について学ぶ。 屋内消火栓の設置個数、放水量、消火水槽の容量の求め方について学ぶ。 	6	【評価方法】 ①中間考査 ②期末考査 ③授業態度 ④授業内に行うプリント
	5	屋内、屋外消火栓の役割		6	
	6	スプリンクラー設備の役割 水噴霧設備の役割		8	
	7	泡消火設備の役割①		6	
二 学 期	9	泡消火設備の役割②	<ul style="list-style-type: none"> 泡消火設備において、送液用および送水用ポンプ、一斉開放弁等について学ぶ。 二酸化炭素、粉末消火設備の役割や設置場所等について学ぶ。 感知器(熱、煙)等の原理を理解する。 感知器の種類や設置場所および設置個数等について学ぶ。 緩降機、避難はしご等の役割や設置される場所や個数等について学ぶ。 	8	
	10	二酸化炭素設備、粉末消火設備の役割		8	
	11	自動火災報知器の役割		8	
	12	緩降機、避難はしご等の役割		8	
三 学 期	1	消火器等について	<ul style="list-style-type: none"> 消火器の種類および消火器の構造について学ぶ。 非常電源の種類(受電設備・自家発電設備・蓄電池設備)等について学ぶ。 演習を行い、一年間の学びを総括する。 	6	
	2	非常電源、非常コンセント設備		6	
	3	一年間のまとめ		4	
				74	